

# Rikkyo Club of Executives & Professionals 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

## 2015 経済人交流ゴルフ



対外交流委員会主催の「2015 経済人交流ゴルフ」が2015年9月13日(日)盛大に行われました。直前に大雨の降った地域もあり、天候が心配されましたが、昨年同様本年も晴天に恵まれ東京都稲城市の「よみうりゴルフ倶楽部」にて22名のご参加を頂きました。

対外交流委員会は立教経済人クラブメンバー内交流のみならず、立教他団体、他大学の経済人との交流を目的としています。2015年は他大学等の10名の経済人の方々と立教OB12名、計22名の経済人の方々の参加を頂きました。

我が立教経済人クラブからは、会長の和田成史氏(S50営(株)オービックビジネスコンサルタント社長)、副会長の伊藤守氏(S49観(株)毎日コムネット社長)、副会長の戸井田和彦氏(S50営(株)ファルテック社長)、木本和伸氏(S54産(株)きもと社長)、伊東龍也氏(S56営(株)ゴルフ・ドゥ社長)、理事の大屋高志氏(S63化(株)フィールズ社長)という上場企業6社の現役社長をはじめ、沢山の方々にご参加頂きました。他大学OBを含めると、8名の上場企業の社長・役員経験者、未上場ながら知名度抜群の企業・その分野では世界シェアや日本有数のシェアを持つ企業、老舗企業やプロフェッショナルな多士済々、華麗な経歴のいろいろな業種の方々が

一同に集う催しとなりました。

東京大、慶應義塾大、一橋大、早稲田大、明治大、東海大、中央学院大、日大芸術などの他校卒業生の経済人の方々2名、立教OB2名の4名での組合せを原則にゴルフと交流を楽しみました。今年も昨年同様にレベルの高い好スコアをマークの方がおいでになりました。

結果としてはグロススコア70台が3名、80台が4名、90台11名、100超3名でした。グロススコア74で回った方がハンディで6位に沈むという、新ペリア方式をならではの楽しさがあり、参加者の皆さんで楽しんで頂けたと思います。

優勝はグロス47・45=92ネット70.4 廣瀬英昭氏(早稲田(株)東京電子サービス社長)、準優勝はG42・36=78 N70.8 樺本健夫氏(一橋とちもと公認会計士事務所社長)、第3位はG44・47=91 N71.8 大塚尚司氏(立教(株)オリコム社長)、第4位はG45・45=90 N72.0 桑原忠雄氏(東海(株)ワコーエンジニアリング社長)、第5位は吉田真市氏(慶応(株)日本コロムビア社長)G39・38=77 N72.2という結果になりました。

懇親会は和田会長の挨拶で始まり、参加者皆様全員から一言ずつ頂きながら順位発表を進め大いに盛り上がりました。

今回参加者の方に加えて、参加されていない

方からも豪華な賞品のご協賛を頂き、賞品獲得の都度歓声が沸きあがりました。キャディーバッグや高級オーディオ、食事券、衣料品、有名ウエッジなどなど、スポンサー皆様のご厚意により今回も賞品が充実致しました。おかげさまで、参加者全員に参加賞に加え賞品をお渡すことができました。この場をお借り致しまして賞品のご提供を下されたスポンサーの方々に厚く御礼申し上げます。

なごり惜しい雰囲気の中、大いに盛り上がった2015経済人交流ゴルフも伊藤副会長の挨拶で中締めとなりました。 一安東 隆司 H1社一

賞品のご協賛を頂いたスポンサー様、法人様(順不同、敬称略)

- 【法人】 (株)トラッドインターナショナル  
(株)オービックビジネスコンサルタント(株)とんでん  
TANAKAYA半蔵門店  
トニーローマ三番町店  
はるやま商事(株)  
MIEKO UESAKO  
(株)フォーティーン  
(株)ゴルフ・ドゥ
- 【個人】 伊藤功一様  
桑原忠雄様  
上原洋一様  
伊藤守様

## 朝食勉強会

ファッショントレンドはこう作られる  
～アパレル業界に代表される日本の流通業界最先端～

講師：立教大学経営学部 教授 高岡美佳氏

2015年10月14日(水)に本年度第1回目の朝食勉強会が、シャングリ・ラ・ホテルにおいて開催されました。今回は、立教大学経営学部教授の高岡先生に、普段の固いお話とは違うファッション業界についてご講演いただきました。

【講師略歴】 高岡美佳 立教大学経営学部教授／博士(経済学)

1999年 東京大学大学院経済学研究科修了

2001年 大阪市立大学経済研究所助教授

2002年 立教大学経済学部助教授

2006年 立教大学経営学部助教授

2007年 同准教授を経て、2009年より現職

小売業・飲食業のフランチャイズ経営、アパレル企業と百貨店の取引などが専門  
株式会社ファミリーマート社外監査役、株式会社モスフードサービス社外取締役  
株式会社TSIホールディングス(旧東京スタイル、サンエー・インターナショナル)社外取締役などを務める

## ■ 日本におけるファッショントレンドの変遷

1970年代、雑誌「an・an」に代表されるようなニュートラルなファッションや、雑誌「JJ」の鎌倉スタイルといったかわいらしいファッションの時代。

1980年代に入るとオリブガール、DCブランドブームといったトレンドになる。

1990年代には、渋谷109全盛時代となり、コギャルに代表されるような、スタイルが登場。セレブという言葉もこのころから出始めた。2000年代に入ると、エビちゃん、モエちゃんに代表される、東京ガールズコレクションがスタートして、ミラノ・パリ・ニューヨークコレクションとは違い、身近にいる女の子が着るようなファッションが目されるようになった。

近年では、ミクシーやインスタグラムといったSNSの登場と、ユニクロなどに代表されるファストファッションの流れが加わり、よりファッションが身近になっている。

## ■ アパレル業界の状況

国内の市場規模はおよそ9兆円。内6兆円が婦人服。アパレルの世界では婦人服が中心になっている。金額ベースで見ると90年代をピークに年々減少しており、洋服が売れなくなっているように見える。しかし、数量ベースで見ると、減少幅は小さい。これは、ファストファッションと呼ばれる、ユニクロや、フォーエバー21の登場で洋服の単価が下がりが買やすい時代になったことを示している。

## ■ 流通チャネル

洋服を売る場所のことをアパレル業界では、「館」と呼ぶ。「館」は大きく、百貨店、駅ビル系、ショッピングモール系、路面店、WEBの5つに分類される。アパレル業界勢力図は中長期で見ればどの館で売っているかで明暗が分かれている。世界的にはZARAが最大で2兆4千億の売上規模。国内最大はユニクロを展開するファーストリテイリングで1兆7千億。ユニクロは20年前には国内トップ10にも入っていなかった。かつての上位企業は、ワールド、オンワード、TSIホールディングスやレナウン、三陽商会など。しかし、百貨店を主要なチャネルとしてこだわりすぎ、駅ビルやモールへの展開が遅れた企業は百貨店と共に、売上が縮小していった。このように、消費者がどの館で買うのか、メーカーがどの館で売るのであるのかで大きな差につながった。

## ■ 館とアパレルメーカーの取引形態

## ・百貨店の取引形態

百貨店との取引形態は特殊で、商品が1点売れるごとに仕入れが発生し、その際の掛け率で決まっ

ている。つまり、百貨店の店頭で商品が並んでいるあいだは、所有権はメーカーにある。消費者がレジで購入した段階で、所有権がメーカーから百貨店、消費者と瞬時に渡る仕組みになっている。東京都心、大阪環状線内の大手百貨店で、商品価格のおよそ35～45%、地方百貨店で25～40%が百貨店に入る仕組みになっている。因みに、もっとも高いのが伊勢丹新宿店だが、メーカー側としては集客力があるところにお金を払っても置きたいと考えている。

## ・駅ビル、モール系の取引形態

テナント料として家賃を支払う形態で、館ごとに、フロア、場所による坪当たりの想定売上のおよそ15～20%といわれている。想定売上を超えたら儲かるという仕組みで、売れば売れば家賃比率が下がるようになっていく。よって、テナントは売れないと家賃負担が大きくなり、退店することになるため、常に売上の取れるような斬新なお店が集まる構図になっている。

## ・路面店の形態

単純に決められた家賃を支払う形態。商業施設ではないので、ブランドイメージに沿った外装、内装が可能。都内で最も高いといわれているのが表参道。メインの通り1階でおおよそ坪10万～15万といわれている。おそらく、表参道にあるブランドは相当な家賃を払っており、ほとんど利益が出ていないのではないかとと思われる。

## ・WEBの形態

大きく、ZOZOタウンのようなWEB上のアパレルショッピングサイトと、自社で展開するWEBサイトで違ってくる。アパレルショッピングサイトでは、15%程度のマージンが必要な上、在庫管理が行いにくい。その点、自社サイトはシステム開発費と管理費はかかるもののコストが安く在庫管理もしやすいというメリットがあり、各メーカー、ブランド共に力を入れている。

## ■ ファッション業界で今起きていること

ファッションのトレンドはこれまでは、コレクションを中心に、国民的女優や、プロのモデル、海外セレブ、読者モデルがそれを着用することで作りあげてきた。

ここ1・2年の傾向は、雑誌のスタイリスト、フォトグラファーが影響を与えるようになってきている。モデルよりも雑誌で取り上げるようなファッションを扱っている人たちのほうが、センスがいいということが一般の消費者に広まっている。これはSNSの影響が大き



い。スタイリストの辻直子さんやフォトグラファーのシトウレイさんなどのブログや、インスタグラムに掲載される本人のお勧めコーディネートがSNSを通じて、一般の消費者に影響を与えるようになってきている。

更に最近では、インスタグラムユーザーが広がったことで、世の中に影響を与える人たちが変わりつつある。ものすごい数のフォロワーを持つ一般の消費者が、毎日自分のコーディネートを、ハッシュタグをつけてアップすることで、かわいいと話題を呼ぶようになっている。こうした一般の消費者から出てきた人たちが、フォロワーである一般の消費者のお買い物に同行をしたり、自宅に行ってクローゼットにあるものからコーディネートを選んでくれるようなサービスも始めて予約が殺到するような状況になっている。

こうした動きに、アパレルメーカーや出版業界などが注目をして、コラボするようになり、本を出版したり、セミナーを開いたり、これまでのビジネスを大きく変えている。

## ■ ファッション業界の今後

イノベーター理論で、ファッションのトレンドを追う人々を分類すると、イノベーター、オピニオンリーダーと呼ばれるコレクションモデルなどを購入するファッションに敏感な人々がおおよそ15%、アーリーマジョリティと呼ばれる早めにファッションに対応する人々が35%、レイトマジョリティと呼ばれる遅めに対応する35%の人々と残りに分類される。メーカー各社はオピニオンリーダーと呼ばれつつある身近なモデル、一般消費者の中から出てきたファッションアイコンの人たちを取り込もうと必死になっている。彼らが自分のインスタグラムで自社の洋服を着てくれることで、これまで百貨店などにいた販売員の代わりとなる。

今後は、アパレルメーカーはますますWEB販売に力を入れていく。そこでは、WEB接客も重要になるだろう。ITベンチャーを活用してSNSと連動した接客、販売をする手法に熱い視線が注がれている。

—品川 高穂 H8濟—

## 2015年度第2回理事会

11月4日、立教経済人クラブ第二回理事会が新橋の新橋亭(取締役会長:呉 東富様 昭41・営)にて開催されました。

18時30分定刻より理事会を開始。前回理事会後総会にてご承認いただいた各委員会企画事項の進捗状況並びに開催報告、クリスマス会など今後の予定されている企画についての内容報告をさせていただきました。

和田会長をはじめ、各理事の皆様からご意見並びにご助言を賜り、実行済み企画のご報告並びに、クリスマス会に対する追加予算(10万円)に対しご承認を頂きました。

その後懇親会へと移り、和田会長(昭50・営)より新校舍やスーパーグローバル構想など確実に変化する学院に対する様々なご支援をお願いしたい、とのご挨拶のあと、長谷川正二郎様(昭25・営)による高らかな乾杯のご発声によりおいしい料理に舌鼓をうちました。

諸先輩方の近況などを詳しく伺うことができ、笑い声が絶えないまま定刻21時に散会となりました。

引き続き各委員会の活動にご支援とご指導をお願いいたします。  
—林 雄太 H7営—



「なぜ、築地が居留地となったのか？」

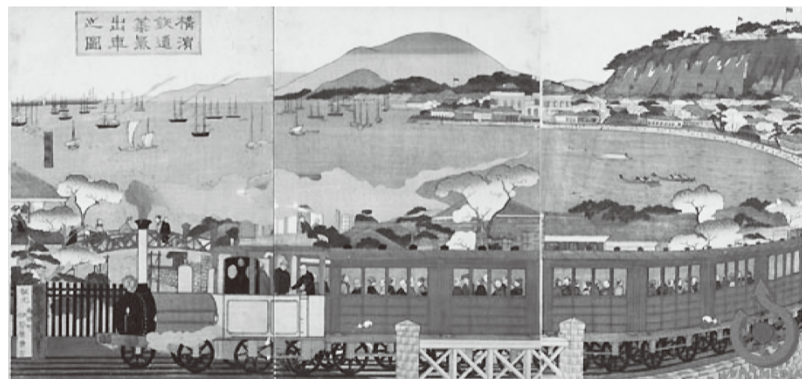
「なぜ築地にミッションスクールが開校されたのか？」

### 立教の建学の地 築地居留地について

前回、経済学的アプローチとは異なる視点からの「立教建学のミッション」を探ってみたいと発信したところ、同じように思う人がいらっしゃるようでしたので懲りずに進めてまいります。さて、多くのミッションスクールの発祥の地が築地の居留地であったことを前回記した。では居留地とはなんだろう。長崎の出島!と答える人は歴史に興味がある人ですね!! 時代は流れ、260年の鎖国政策をとっていた幕府は、ペリーの黒船強行外交により1854年日米和親条約で、下田と箱館(後の函館)の2港が開港を余儀なくされた。1858年安政年間の日米修好通商条約(続いて 英、仏、露、蘭と締結)では東京、大阪の「開市」、神奈川、長崎、兵庫、新潟の「開港」を認めてしまった。(圧倒的な近代技術の兵力の前に認めざるを得なかった)。もう一つ押さえておきたいことは、この居留地は①治外法権②関税自主権の喪失③後から他国と結んだ条項で有利なものは先に結んだ国にも自動的に適用されるという日本にとって実に不平等な条約が結ばれてしまった。そして、当時の幕府は江戸(東京)の「開市」(下記\*印参照)は実は一番避けたいことだったのだ。なぜならば江戸幕府の中心地に外国人が住むことは、攘夷派が納得するはずもなく、幕府政権への求心力が弱まりつつあることも踏まえ悩ましいことであった。ただし、「開港」の要求を「開市」に収めた努力は認めたい。なぜなら江戸防衛の観点からは開港は絶対に阻止しなかったはず。(外国船が直接江戸に入港するリスクがある)さらに努力は続く。1862年1月1日と決められていた「開市」だったが、幕府は勘定奉行の竹内保徳を正使として欧州各国へ延期交渉に当たらせ5年延期を認めさせた。しかしながらその努力も墜え、幕府もついに維新動乱の末「大政奉還」となり、代わって新政府は明治元年11月19日築地に外国人居留地を開いた。つまりは横浜開港に遅れること9年後の居留地発足であった。築地は他の居留地と異なる事情があり、それ故に特異な発展をしたのである。整理すると、①幕府の画策により居留地としては遅れてデブューした。②港が開放されなかったため商業の発達が出遅れた。③、②の事情により居留

神保町シンクタンク  
黒田裕治(78年3月 法学部卒)

プロフィール  
1955年7月4日 広島県尾道市 生まれ  
立教高等学校 立教大学を経て  
近畿日本ツーリスト株式会社に勤務  
2012年、独立して安曇野シンクタンク創立に加わり、  
現 神保町シンクタンクを主宰



浮世絵に描かれた開業当初の鉄道(横浜)資料wikipediaより

地への誘致が進まず賃料を値下げしたりしている。④幕末の動乱で江戸を避けて横浜に避難していた領事館が戻り、合わせて各派キリスト教宣教師たちが築地に布教の拠点を築いた。(当時欧米は各派の勢力争いが続いており、特にプロテスタント各派が激しく新天地への布教を画策していた。)

今回の結論:築地がミッションスクールの発祥の地となった理由は居留地としての築地が整えられてきたためであった。逆に言えば横浜が商業地として急速発展し、教育の場に相応しくないという配慮もあったと思われる。現にフェリス女学院、共立学園、雙葉(紅蘭女学園)は横浜・山手が発祥なので居留地の喧騒を避けての建立だと想像できる。そして築地への誘致に大きく貢献したのはあるいは鉄道の敷設だったかもしれない。(ただし、物資の輸送に関しては圧倒的に海運であったことを記す。)

\*「開市」とは交易のために外国人の一時滞在を許すが彼らが永住して大規模な通商貿易を行うことを拒否するという意味。「居留地」とは開港場の一角で、外国人が土地を借用し建物を建てて交易を行うことを幕府、次いで明治新政府が公認した制度である。

参考 築地居留地Vol. 1~4 (NPO法人築地居留地研究会)

## 立教大学法学部のキャリア教育の取り組み

2016年4月入社予定の新入社員内定式がニュースになっておりました。就職活動が変化している中、大学側のキャリアに対する取り組みをご紹介します。これまで、経済学部の取り組みをご紹介しますが、法学部の取り組みもご紹介いたします。



### 1 法学部の紹介

法学部長 川崎 修

立教大学法学部は、1959年の学部開設以来、「平和と秩序の叡智」を理念に教育と研究に邁進してきました。今日、大学教育は、そして法学・政治学教育も、様々な意味で転換期にあると言われます。しかしそんな時代だからこそ、大胆に変革すべきものと頑固に守るべきものとの見極めが大事だと私たちは考えます。

守るべきもの、それは法学と政治学の教育・研究の学問的な質です。法学・政治学は古代のギリシアやローマにまで起源をさかのぼる学問です。もちろんその内容は時代によって大きく変化してきましたが、学問としての伝統は時代を超えて息づいています。私たちは、こうした学問的伝統の革新的継承者としての自負を持って、法学・政治学の教育と研究に精励してきました。それはこれからも決して変わりません。

しかし同時に、時代の要請の中で変革すべき課題もあり、私たちもそうした課題に取り組んでいます。その一つはグローバル化への対応です。そのために、英語を使う授業の充実や留学しやすい環境の構築に努めています。また、オックスフォード・サマープログラムを開始し、シンガポール経営大学との交換留学もまもなくスタートします。

もう一つはキャリア教育です。企業との連携で行われる「FSP(Future Skills Project)」や、法学部での学びとキャリア意識とを架橋する「キャリア意識の形成」の授業や、様々な業種や分野にきめ細かく焦点を当てた多彩なキャリア講演会・交流会(ジョブカフェ)なども開催しています。今回は、以下で、その一端をご紹介します。

法律や政治は、社会が安定し個人の生活が円滑に営まれるときにはあまり意識されません。しかし、社会のあり方が問い直されその中で個人も様々なリスクに巻き込まれる変革期には、法学と政治学の役割はきわめて重要になります。私たちは、時代に流されるのではなく、広い視野と確かな基準をもって現実と向き合える、柔軟でたくましい知性を育てる教育を進めてまいります。

### 2 法学部のキャリア教育、キャリア支援について

法学部キャリアアドバイザー 薬師丸正二郎

一 法学部では、学生に質の高い専門教育を提供すると同時に、時代の要請に合わせて、多彩なプログラムを提供しています。そのひとつが、キャリア教育です。ここでは、これまでのキャリア教育の取り組みを紹介させていただきます。

法学部が進めるキャリア教育の取り組みは、学部での学修内容を複眼的に捉える機会を提供することにより、日々の学修に目的意識を持って積極的に取り組む姿勢を養うことを目的に策定しています。以下では、特徴的な企画をご紹介します(詳細は、別表をご参照下さい)。

二 法学部のキャリア教育の取り組みは以下の通りです。

①「キャリア意識の形成」は、本学の法学部卒業生を中心としたゲストスピーカーを招き、キャリアについての情報や考え方を提供するとともに、コミュニケーション・スキルのトレーニングを行う正課科目です。

②「キャリア支援講演会」は、各界で活躍されている立教大学OB・OG、その他外部のゲストを招いて、講演して頂く企画です。ジョブカフェと異なり、大教室で実施する講演形式の企画です。

③「ジョブカフェ」は、立教大学のOB・OGや外部のゲストを招いて、自身のキャリア、自社・業界等について話を頂く企画です。少人数の座談会形式で開催されるため、毎回、活発な質疑が行われています。

④「就活カフェ」は、就職活動、公務員試験受験を終えた4年生が現役学生を対象にその体験を伝える企画です。就職活動を終えたばかりの先輩から直接話を聞く貴重な機会として人気のある企画です。

三 これらのプログラムの多くは立教大学OB・OGを中心とする皆様のご理解とご協力の上に成り立っております。立教経済人クラブ会員の皆様にも、これまでの貴重な経験に裏づけされたお話を立教大学の学生に伝えて戴ければと考えております。

今後とも、法学部のキャリア教育の取り組みにつきまして、ご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

### 3 法学部のプログラム：国際・ビジネス特別ガイダンスとFSP(Future Skills Project)について

国際ビジネス法学科教授 溜箭将之

4月。法学部にも新入生が入学してきます。皆さんの先輩は、大学内外でさまざまなユニークな取り組みをしているんですよ、ということをお伝え、また新入生自身の大学生活のプランニングに役立ててほしいと、昨年2014年から4月に「国際・ビジネス特別ガイダンス」を開催しています。

このガイダンスでは、教員が立教大学や法学部で提供されるキャリアやビジネス、国際交流に関する授業・プログラムを紹介するほかは、新2年生以上の法学部生が、少人数に分かれた新入生リードします。先輩の経験と普段考えていることを共有し、立教での大学生

### 立教大学法学部キャリア支援活動

#### 【活動】 就職活動・キャリア関連講座の充実

- 就職活動に関する対策講座(2013年12月～;計6回)  
(ES対策講座, 面接対策講座等)
- キャリア関連講座(講演会等)(2014年5月～;計6回)  
講演者:立大学院理事長ほか
- インターンシップ関連講座(2014年11月～;計6回+)  
事前・事後学修会, 成果報告会
- 公務員試験対策講座(2015年6月～;計4回)  
方法論, 公務員試験職種別面接対策
- JOBカフェ(2014年6月～;計8回)  
放送, 出版, 金融, 地方自治体等のOB・OGほか
- 就活カフェ(2014年7月～;計6回)  
法学部4年次生内定者:金融・IT・放送・地方自治体等
- 就職活動面談(2013年11月～)  
学部専属のキャリアサポーターによる面談

#### 【連携】 OB・OGネットワーク構築の強化

キャリア支援活動に理解を示して下さるOB・OGに登録して戴き、講演会、JOBカフェ、OB・OG訪問等に協力して戴いている。

#### 【主体性】 法学部生運営委員会による新たな試み

学生の主体性を高める活動をするために、法学部主催の学部生向けキャリア支援行事を、法学部生が教員の指導のもと企画・運営を行っている。

#### 【情報】 就職活動・キャリア関連情報の配信・広報

情報発信の場として、法学部キャリア支援ブログを立ち上げて、法学部生向けに、キャリアや就活支援に関する講演会やイベント等を広報している。  
<<http://houshien.cocolog-nifty.com/blog/>>

活にどのような可能性があるのか、キャリアや国際交流を意識してどのような取り組みができるか、どのように準備すればよいか、など考える会となっています。

新入生勧誘で忙しい中、多様な経験をしている現役生が協力してくれています。海外に留学した学生、国内外でインターンやボランティアをした学生、また立教大学のグローバル・リーダーシッププログラム、国際協力人材プログラムを活用している学生、さらに法学部で2014年に始まったオックスフォード・サマープログラムや後述のFSPプログラムに参加した学生など。

FSP(Future Skills Project)とは、2014年からベネッセ・コーポレーションが事務局として運営しているプログラムで、企業と大学が協力して、学生が実際の社会が抱える課題を知り、チームで課題解決に取り組むことを目指すものです。昨年は日本オラクル株式会社と株式会社日立製作所に協力いただき、企業が今日取り組む大きな課題に、学生が社員の立場で挑みました。今年は小林製薬株式会社と経済産業省の方にご協力いただく予定です。

大学4年間は、昨今の就職事情の大きな変化もあり、あっという間に過ぎてゆきます。そうした変化や卒業後の社会をきちんと見据えつつ、かつ大学での勉強や課外活動など充実した生活を送ってほしい。プログラムに参加する学生を見ながら思っています。

## 立教大学経済学部のカリヤ教育の取り組み

経済学部のカリヤ教育の取り組み3回目は、本年度実施されている「企画講座」の様様をご紹介します。

キャンパスの木々の葉も紅葉に染まり、赤煉瓦の校舎とのコントラストが美しい季節になりました。夏季休業中には立教経済人クラブ加盟企業に5名の学部生がインターンシップ研修でお世話になり、秋学期から見違えてたくましくなって戻ってきました。カリヤ教育関連科目やスキルアップ講座では専門科目と経済社会の関連を意識させつつ、受講生は現実的な諸問題を実践的に学ぶ環境を得て大いに勉学に励んでいます。OBOGのみならず、赤レンガセッションでお会いできるのを楽しみにしています。

経済学部カリヤ教育運営委員会座長 遠山恭司



### 産学連携による課題解決型授業 「企画講座C」 —Project-Based Learning—

2013年度にスタートを切った、経済学部のカリヤ教育の柱である正課「企画講座C」も、今年で3年目を迎えました。当科目は、協力企業から提示される具体的な課題に対し、解決策の検討や提案に取り組む中で、社会理解・職業理解を深めることはもちろん、専門科目として学ぶ経済学と実社会で起きている問題とのつながりを実感してもらうことを目的に展開しています。

今年度の授業前半をご担当いただいたのは、科目の立ち上げ当初からご支援いただいている、株式会社Plan・Do・See。ホテルやレストラン、ウエディングの企画運営・プロデュースを主な事業とする企業です。昨年度までは、課題提示から最終発表まで全ての回を学内の教室で行ってきましたが、「より会社の一員としての意識を強く持って、企画の仕事リアルに体験してもらいたい」との想いから、授業初回と最終発表日には本社オフィスの会議スペースをお借りして課外授業を実施しました。さらに、初回には「入社式」を模したセレモニーと名刺交換も体験させていただきました。

今回の課題は、「次の50年も愛されるThe Sodoh Higashiyamaの戦略を立案せよ」! Plan・Do・Seeが実際に運営する京都の店舗を題材に、50年後の未来を想定して大改装を行うとしたら、どのよ

うな提案をするかというものです。企業が掲げるビジョンやミッションを背負い、各チーム4名で資料収集・情報分析・ディスカッションを約1ヶ月間重ね、先輩社員の皆様に前にプレゼンテーションを行いました。

結果、ターゲット層拡大のための新規プランや、人生二度目のプロポーズという文化自体の発信、また訪日外国人に対するサービスなど様々な切り口の面白い提案が集まりました。発表時の堂々とした立ち振る舞いからも、彼ら・彼女らがどれ程真剣に、熱意を持って取り組んできたかがしっかりと伝わってくる内容でした。

今回の経験で得た達成感や悔しさを忘れることなく、学生の皆さんには「こんな未来になったらいいな」をひとつひとつ着実に叶えていくための豊かな発想力と力強さを持って、近い将来、立教大学経済学部から羽ばたいてもらいたいと願っています。

### チームで課題解決する力を高めるワークショップ「ENERGIZE2015」開催!

課題解決型授業「企画講座C,G,I」履修者を主な対象とした、3回連続ワークショップ「ENERGIZE」が、この秋新たに始動しました。当プログラムは、社会で必要となる「協働して成果を出す力」を、授業やゼミナールなどの学生生活を通して実践的に身に付けられるようになることを目的に企画されたものです。具体的には、グ



ループでの課題解決の基礎となる「協働のスキル」、真の課題を設定する「論理思考のスキル」、発表時に必要な「プレゼンテーションスキル」の3つのスキルの獲得を目指します。



今回集まった35名の学生は、応募時に志望理由の提出を必須としたこともあり非常に意識が高く、ディスカッションの立ち上がりの速さや声の大きさ、相手の話を真剣に聴こうとする姿勢、リアクションなどからも、それが見て取れるような活気あるクラスとなりました。

今後、参加学生たちがこの3日間で得た学びを生かし、様々な場面で周りを、そして社会を“energize(〜にエネルギーや活力を与える、元気づける)”してくれることを期待しています。

経済学部教育研究コーディネーター  
小泉苑美

### クリスマスの夜に。“つなぐ、広げ、立教経済の輪”

## 経済学部OB・OG&在学生交流会『第3回赤レンガセッション』開催のご案内

昨年の12月に始まった、経済学部の新たな同窓連携プログラム『赤レンガセッション』が、来る12月6日に、池袋キャンパス・太刀川記念館にて開催されます。経済学部では、同じバックグラウンドを持つ卒業生と在学生、また卒業生同士の交流を積極的に支援して、長期的視野にたったカリヤ支援へつなげることを目指しています。

今回は「リーダーシップ力」を共通テーマに、プロ・ファシリテーターをお招きしてLEGO®ブロックを活用したワークショップを企画!クリスマスイルミネーションが輝く最も立教らしいこの季節、同窓の友人・知人をお誘いあわせの上、ぜひお気軽にご参加いただき、経済学部の同窓パワーを盛り上げてください。



#### <プログラム概要>

- ・日時 2015年12月6日(日)  
15:00~18:30(14:30受付開始)
- ・会場 立教大学池袋キャンパス  
太刀川記念館3階多目的ホール
- ・参加費 1500円(お一人様)
- ・対象 経済学部1~4年生、OB・OGの皆様  
(在学生・卒業生合わせて80名予定)



◆詳細とお申込みはこちらの経済学部Webサイトよりお願いいたします。

経済学部サイト <https://www.rikkyo.ac.jp/eco/news/faculty/2015/1206.html>



2015年7月30日、ホテルニューオータニ東京にて、フィールズ株式会社の東証一部上場を記念して、代表取締役社長を務められ立教経済人クラブ理事でもあります、大屋高志氏(S63化)をお祝いする会が開催されました。

19時より拡大委員長の昆 凡子氏(S54仏)の司会のもと会が始まりました。開宴にあたり当クラブ顧問の谷田権氏(S35経)より、大屋氏が2012年の朝食勉強会で講演いただいた際のことや、フィールズ株式会社の最近の事業についてお話していただきました。

発起人代表のご挨拶として、立教経済人クラブ会長 和田成史氏(S50営)より、大屋氏が経済人クラブに関われる以前より、IT業界にお強いドイツ証券のアナリストとしてお付き合いがあり、その後もお付き合いをさせていただいていたこと。経済人クラブの朝食勉強会ではじめて立教OBと知って、大変驚いたことなどのエピソードをお話いただきました。

続いて本日の主役、大屋高志氏よりお話しいただきました。立教経済人クラブとメンバーへの心のこもった感謝の言葉が印象的でした。

その後、立教経済人クラブ副会長であり、同じ上場企業の社長を勤めておられる戸井田和彦氏(S50営)より乾杯の音頭をとっていただき、おいしい食事と共に歓談が始まりました。

歓談の途中で花束と記念品を、プレゼンターの庄司祐子氏(H16院ビ)、井関由子氏(H7国比)より贈呈が行われました。早速記念品のシャツ生地とネクタイを確認していただきますと、大屋氏のイメージにぴったり合っていた(?)のか見た瞬間に思わず笑っておられました。出席者一同からは来年の株主総会で着ただけかな?といった声もあり盛り上がった場面となりました。

歓談の後半では、各テーブルにマイクを回して、大屋氏にお祝いのメッセージをいただきました。皆様の温かいお祝いのメッセージの中に、大屋氏の外見とは違った、柔らかな一面を垣間見

ることが出来ました。

宴の締めには、立教大学体育会応援団とチャリリーダーの方々による、楽しいトークと、リードのもと第一応援歌、校歌を参加者全員で斉唱し、大屋氏の今後のご活躍を祈念してエールを送りました。

母校の先輩方、同友、後輩達と大屋氏のお祝いのため会話が弾んでいましたが、楽しい時間は過ぎるのが早いもので、あっという間に中締めとなりました。当クラブ副会長の梅田憲司氏(S50経)に中締めのご挨拶をいただき、大屋氏、出席の皆様の健勝と、フィールズ株式会社の更なる発展を祈念して閉会となりました。

—今田 雄一 H4立教高—



## 第67回 立教経済人クラブゴルフ会



第67回立教経済人クラブゴルフ会が2015年7月25日(土)に名門、東京ゴルフ倶楽部にて開催されました。

いつもの事ですが梅雨明け直後でお天気に恵まれ過ぎて、たいへん暑い日での開催となりました(^\_^)

厳しい状況の中、優勝は加藤 陸夫氏(S57社)でした。スコアは41、44の85です。準優勝は大屋 高志氏(S63化)でした。スコアは45、42の87です。

和田会長より、優勝、準優勝カップが授与されました。

優勝、準優勝のお二人もそうですが、3位の齋藤 治氏(S60営)も87、4位の神津 港人氏(H4営)は83、ベスグロの若山 晶氏(S50経)は79！と上位の方のレベルは相当なものです。でも、ご安心下さい。初心者の方も負けずにいっぱいいらっしゃいます(^o^)^v 初心者の方から上級者の方まで同じ組で楽しめるのがゴルフの素晴らしさです。私は初心者だからなあ (^-^;)ですとか、オレ上手いからなあ (^-^;) と遠慮気味の皆様、次回にどうぞお気軽にご参加下さい。お待ちしております。

最後に東京ゴルフ倶楽部を毎年ご紹介頂きました、山元 春三先輩(S31営)がこの大会の直前にご逝去されました。心より感謝申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。 —長倉 一裕 S59法—

## ❖ 女 ❖ 子 ❖ 会 ❖

当クラブでは、アクティブな女性会員同士の懇親の場として、クラブメンバーの女性を中心とした楽しいお集まりを企画しております。

今回は、2015年9月15日(火)19時より、昆 凡子宅にて、「シャンパンを片手にキャビアを囲む夕べ」と題し、シャンパンやワインと共にキャビアを楽しむ会を催しました。



## グルメ会

2015年9月29日に立教経済人クラブ、秋のグルメ会が開催されました。今回は神楽坂の老舗フランス料理店「ラ トゥーエル」です。23名のご参加を頂きまして、貸し切りと言うこともありとても賑やかなディナーとなりました。

アミューズブーシュと言うオードブルの前の一口の料理からスタートです。レモングラスのアイスクリーム、ナスのムース等とても美味しく、期待が高まります。

前菜はフォアグラのムース です。プリオッシュパンが添えてあり、乗せて食べるとそれはもう、、、続いて魚です。的鯛のロティ、トマトソースはさっぱりとしていてフォアグラの後にはピッタリ!

メインは鴨のローストです。焼いている時に出た鴨のエキスをを使ったソースがしっかりしていますがすーっと消えていく、とてもいい味に仕

上がってます!! 焼き加減もgoodですv(^q^)

デザートは濃厚なチョコレートケーキと小さなお菓子達。

料理の美味しさもあり、たいへん盛り上がったグルメ会となりました。そして今回は料理とワイン、ソフトドリンクが含まれて、1万円ポッキリとは\(^o^)/

ラトゥーエルさん、利益は!?と心配になりました(^\_^)

次回も素敵なお店を厳選して開催しますので是非ご期待、そしてご参加下さい!! —長倉 一裕 S59法—



## ラグビーが盛り上がっています。



私のような、昔のへなちょこラグーマンでも恩恵を受けたり、質問されたりすることが増えました。

「得点を何故トライというの?」「昔トライは得点ではなくて、ゴールキックを蹴る(トライする)権利を得るためものだったからだよ」、「何故試合終了をノーサイドというの?」「どんなに激しい試合を戦っても、それが終われば敵味方はないという意味だよ」とか。

激しく、厳しいが故に紳士のスポーツと呼ばれるラグビーの話は、人材教育で使われることがよくあるよ

うです。有名なのは「One for all, All for one」ですが、私は、かつて「Flying Wing」と称賛され、今回のワールドカップで優勝したニュージーランド代表候補にもなった坂田好弘さんの言葉を肝に銘じています。「いくら組織が良くても、個人の力が弱くては駄目。個人技のない組織というのはパワーのあるチームに負けてしまいます。相手に勝てる技術を持った集団のラグビーは強い。」

—田中 善之 S57法・H22院ビ—

## 新しく会員になられた方々

(敬称略)

**魚躬 弘** 昭和60経  
日本生命保険相互会社  
沼津支店長  
〒410-0801 沼津市大手町2-10-17  
TEL:055-962-8702  
FAX:055-962-8708  
E-Mail:uomi07721@nissay.co.jp  
生命保険業

**久保田 剛輔** 平成14政治  
三井住友海上火災保険(株)  
独立研修生(インシュランスコンサルタント)  
〒221-0052 横浜市神奈川区栄町7-1  
MYXビル4F  
TEL:045-461-0857  
FAX:045-451-0536  
E-Mail:peticular peticular@yahoo.co.jp  
金融業界(MS and AD ホールディングス損保  
保険かつ生命保険)

**佐々木 幸太** 平成4産  
東京平版(株)  
代表取締役社長  
〒162-0833 新宿区単筒町8番地  
TEL:03-3260-1226  
FAX:03-3260-1105  
E-Mail:k.sasaki@tokyoheihan.co.jp  
製版・印刷業

**大同 徹** 平成3産  
(株)大同  
代表取締役  
〒103-0016 中央区日本橋小網町3番12号  
TEL:03-3666-3125  
FAX:03-3669-3893  
E-Mail:toru@daido-corp.co.jp  
専門商社

**長井 伸明** 平成1法  
(株)Knowlbo  
代表執行役 COO  
〒150-0012 渋谷区広尾1-10-4  
越山LKビル2F  
TEL:03-5793-5666  
FAX:03-5475-1881  
E-Mail:nagai@knawlbo.co.jp  
IT

**長堀 真己** 平成15法  
(株)YSLソリューション  
代表取締役社長  
〒231-0033 横浜市中区長者町4-9-1  
TEL:045-662-2811  
FAX:045-662-2813  
E-Mail:masaki.nagahori@ysl.co.jp  
情報サービス業

**橋本 美加** 平成4営  
(株)クロス・ビー  
〒102-0094 千代田区紀尾井町1-11  
ウスイ紀尾井町ビル2F  
TEL:03-6256-8252  
FAX:03-6256-8253  
スポーツビジネスコンサルティング、  
マーケティング

**林田 すみれ** 平成27経政  
(株)井口一世  
管理グループ  
〒359-0006 所沢市所沢新町2553-3  
TEL:04-2990-5400  
FAX:04-2990-5402  
E-Mail:hayashida@iguchi.ne.jp  
精密機器部品の製造・販売、各種機器開発等

**藤澤 文郁** 平成27文  
(株)井口一世  
管理グループ  
〒359-0006 所沢市所沢新町2553-3  
TEL:04-2990-5400  
FAX:04-2990-5402  
E-Mail:fujisawa@iguchi.ne.jp  
精密機器製造及びソフトウェアの開発

**本多 基記** 平成10法  
松尾千代田法律事務所  
弁護士  
〒101-0041 千代田区神田須田町1-19  
梅村・明照ビル3階  
TEL:03-5209-0120  
FAX:03-5209-0220  
E-Mail:motonori.honda@matsuolawoffice.com  
法律事務所

**安尾 圭司** 昭和58産  
日経メディアプロモーション(株)  
マネージャー  
〒101-0047 千代田区内神田1-6-10  
TEL:03-3233-8291  
FAX:03-3233-8217  
マスコミ

### 2015年度 事業計画書

2015年12月12日(土)	第68回ゴルフ会	東千葉CC	(募集)
2015年12月8日(火)	クリスマスパーティー	ホテル ニューオータニ	(募集)
2016年1月27日(水)	新春名刺交換会	日比谷松本楼	(募集)
2016年3月	朝食勉強会	場所未定	(募集)
2016年3月	グルメ会	場所未定	(募集)

### 運営委員会に参加しませんか?

経済人クラブの運営を手助けしてくれる有志を求めています。毎月1回の運営委員会に参加して頂き(本業優先で結構)、自分の役割を片手間にこなして頂くだけです。特別な資格、スキルは一切ありません。本業に影響が出るようなこともありません。必要なのは、経済人クラブの仲間と交流したいと思う気持ちだけかな!? 打合せ終了後の飲み会が楽しみかも?

### 立教経済人クラブ ウェブサイト

<http://www.r-keizaijin.net>

立教経済人クラブでの、過去の行事や活動はウェブサイトでご覧頂けます。



### Facebookで、立教経済人クラブのグループに参加しよう!

セミナーや新製品の告知、交流の場としてドシドシ投稿してください。

### 編集後記

ワールドカップラグビー。日本代表の南ア戦大金星に始まり、強豪国から3勝を上げ、俄かにラグビーブーム。いまだに五郎丸選手を筆頭にマスコミで引っ張りだこの様子。

4年間の成功へのステップをまとめると、

- 海外経験・実績ともに豊富な『世界を知る指導者、エディー・ジョーンズ』の招聘。
- 日本人選手に拘らない、外国人選手の積極的な登用。
- 代表として年間120日以上での練習、しかも『世界一のハードワーク』を選手に課し、「ここまでやったのだから絶対に強豪国に勝てる」という自信を植え付けた「意識改革」の成功。
- 相手チームの徹底的な分析、ゲームプランの意思統一と実行。南ア戦では「日本はボールを展開してくるだろう」との敵の予想の裏を突くキック攻撃。大きな相手には「二人一組」でタックルし着実にボールを殺し、ペナルティを誘い、ペナルティゴールで点数を稼ぐ。意表を突くプレーを織り交ぜながら、シーソーゲームで相手にプレッシャーを与え、最後には劇的な逆転トライ。

過去7回のWCで1勝しかできなかったチームが、3勝しての凱旋帰国。「番狂わせの無いスポーツ」と言われたラグビー界で起こった必然の出来事。我が大学ラグビー部も大いに日本代表の成功モデルを参考にすれば、上位校から金星を上げて、大学選手権常連のチームとなる事も夢ではないと確信させてくれました。

—神津 港人 H4営—